



平成 17 年 10 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 9 月 14 日

上場会社名 アヲハタ株式会社

（コード番号：2830 東証第 2 部）

（URL <http://www.aohata.co.jp>）

問合せ先 代表者 代表取締役社長

氏名 多智花 宏治

TEL (0846) 26 - 0111

責任者 常務取締役管理本部長 氏名 若井 雄次

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 10 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 11 月 1 日 ~ 平成 17 年 7 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況（百万円未満切捨て）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 10 月期第 3 四半期	15,102	3.5	812	16.6	818	20.5	490	36.4
16 年 10 月期第 3 四半期	14,586	-	696	-	679	-	359	-
(参考)16 年 10 月期	19,572		897		879		483	

	1 株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17 年 10 月期第 3 四半期	71.23	-
16 年 10 月期第 3 四半期	52.21	-
(参考)16 年 10 月期	67.26	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における我が国の経済情勢は、民間設備投資の増加や個人消費の改善など、緩やかに回復しております。企業部門の堅調さ、家計部門でも改善の動きが見られるなど、景気回復は底堅く推移すると思われませんが、原油・原資材価格の上昇や定率減税の段階的廃止等の影響が、先行き懸念材料となっております。

このような情勢のもと、食品業界におきましても、健康・安全志向に加え、消費者ニーズの多様化等、成熟市場下での企業間競争は一層激しくなっております。

当第 3 四半期における当社グループの営業の概況のうち、ジャム類につきましては、上半期にリニューアルをおこない新製法によりフルーツ感あふれる仕立てとなった「アヲハタ・55 ジャム」シリーズが、市場で評価をいただき順調に推移いたしました。一方、「アヲハタ・スーパーフルーティ 35」シリーズ、「アヲハタ・トラディショナルジャム」シリーズ等につきましては、厳しい状況が続きました。

今年は、「コンフィチュール（フランス語でジャム）」専門店ができるなど、ジャムに注目が集まるなか、昨年に引き続き夏季限定ジャムとして「アヲハタ・55 パッションフルーツ&アンズジャム」を、また新商品として「アヲハタ・プティソルベ」を地域限定で発売し、食卓に旬や季節感の提案をいたしました。「アヲハタ・プティソルベ」は小容量のフルーツ・シャーベットで、厳選したフルーツの風味を生かした濃厚な味わいが、“少しだけ、でも美味しいものが食べたい”というお客様にご好評いただき、ブランドイメージの向上に寄与いたしました。

さらに、カロリー制限しつつも美味しいジャムが食べたいというご要望にお応えした、「アヲハタ・低カロリージャム」シリーズをリニューアル発売いたしました。

調理食品類では、高齢者の方のみならず、食事が不自由な方等、消費者ご自身の状態に応じて選択できる「キューピーやさしい献立」は順調に成長しました。また、ゆでたパスタにそのままあえるだけの「キューピーあえるパスタソース」シリーズの健闘等もありましたが、厳しい販売環境の下、全体としては低調に推移いたしました。

産業用加工品類では、製菓・製パン向けフルーツ・フィリングおよびフルーツヨーグルト用プレパレーション等の新規ユーザー開拓、新商品の受注ができました。

生産面では、ジャムの製造工程で使用する冷却水に平成 17 年 7 月より「地中冷熱」を利用した冷却システムを導入し、運用を開始いたしました。この冷却システムは、工場敷地内に地下 100m まで 37 本のパイプを埋設し、その中に水を循環させることによって熱を地中に逃がし、温水を一定温度まで下げるといった仕組みです。今まで地中熱は、一般家庭や商業施設の冷暖房の他、温水プールや道路の融雪など、主に熱源の一部として活用されてきましたが、水を冷却する設備として地中冷熱を利用するのは、国内初であります。この冷却システムは、標準的な冷却装置を使用した場合に比べ、二酸化炭素の排出量・電力使用量とも約 4 分の 1 と少なく、より地球にやさしいシステムです。

従来より当社は、地球環境に配慮した生産活動をおこなってまいりましたが、今後も環境保全活動を継続、推進すると同時に、使い易さや環境に配慮したユニバーサルデザイン商品の開発に積極的に取り組んでまいります。

この結果、当第 3 四半期の売上高は 151 億 2 百万円（前年同期比 3.5% 増）、営業利益は 8 億 12 百万円（前年同期比 16.6% 増）、経常利益は 8 億 18 百万円（前年同期比 20.5% 増）、四半期純利益は 4 億 90 百万円（前年同期比 36.4% 増）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年10月期第3四半期	11,328	6,344	56.0	920.82
16年10月期第3四半期	11,342	5,835	51.4	846.82
(参考)16年10月期	11,465	5,954	51.9	861.10

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期末における総資産は 113 億 28 百万円となり、前年同四半期末に比べ 14 百万円減少いたしました。また、株主資本は 63 億 44 百万円となり、5 億 9 百万円増加いたしました。

資産の増減の主なものは、受取手形及び売掛金の増加 3 億 12 百万円、たな卸資産の減少 1 億 32 百万円などです。負債は前年同四半期末に比べ 5 億 25 百万円減少しておりますが、減少の主なものは短期借入金の減少 7 億 95 百万円などです。株主資本の増加の主なものは、利益剰余金の増加 5 億 11 百万円などです。

(参考 1) 四半期個別経営成績等の概況（平成 16 年 11 月 1 日 ~ 平成 17 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期）純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年10月期第3四半期	13,325 7.1	530 8.5	598 10.6	376 23.8
16年10月期第3四半期	12,445 -	489 -	541 -	304 -
(参考)16年10月期	16,595	626	689	394

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
17年10月期第3四半期	10,137	5,338
16年10月期第3四半期	10,219	4,967
(参考)16年10月期	10,268	5,053

3. 平成 17 年 10 月期の連結業績予想（平成 16 年 11 月 1 日 ~ 平成 17 年 10 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	20,000	890	500

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 69 円 38 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 16 年 12 月 15 日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

(参考2) 平成17年10月期の個別業績予想(平成16年11月1日 ~ 平成17年10月31日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり年間配当金	
				期 末	
通 期	18,000 <small>百万円</small>	670 <small>百万円</small>	410 <small>百万円</small>	6.00 <small>円 銭</small>	12.00 <small>円 銭</small>

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 57円53銭

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

[添付資料]

(1) 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	前第3四半期連結会計期間末 (平成16年7月31日現在)		当第3四半期連結会計期間末 (平成17年7月31日現在)		前連結会計年度 (平成16年10月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	275,237		243,192		145,347	
受取手形及び売掛金	3,201,075		3,513,104		3,557,214	
たな卸資産	3,047,824		2,915,482		3,002,479	
繰延税金資産	144,885		141,739		197,279	
その他	184,406		100,270		127,701	
貸倒引当金	19,374		22,755		21,472	
流動資産合計	6,834,054	60.3	6,891,035	60.8	7,008,550	61.1
固定資産						
(1)有形固定資産						
建物及び構築物	1,726,661		1,670,304		1,708,320	
機械装置及び運搬具	485,340		524,352		473,182	
土地	1,288,377		1,287,644		1,287,644	
その他	75,470		73,233		70,699	
有形固定資産合計	3,575,850	31.5	3,555,535	31.4	3,539,846	30.9
(2)無形固定資産						
ソフトウェア	52,078		38,955		49,322	
その他	17,826		17,718		17,787	
無形固定資産合計	69,904	0.6	56,673	0.5	67,110	0.6
(3)投資その他の資産						
投資有価証券	421,837		414,334		408,044	
繰延税金資産	290,722		282,676		294,941	
その他	169,195		151,689		167,387	
貸倒引当金	19,485		23,880		19,985	
投資その他の資産合計	862,270	7.6	824,820	7.3	850,388	7.4
固定資産合計	4,508,025	39.7	4,437,029	39.2	4,457,346	38.9
資産合計	11,342,079	100.0	11,328,064	100.0	11,465,896	100.0

(単位：千円)

科目	期別 前第3四半期連結会計期間末 (平成16年7月31日現在)		当第3四半期連結会計期間末 (平成17年7月31日現在)		前連結会計年度 (平成16年10月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流動負債						
支払手形及び買掛金	2,327,810		2,481,900		2,201,833	
短期借入金	1,715,206		919,520		1,757,020	
未払法人税等	40,631		149,623		77,479	
賞与引当金	171,399		163,891		283,635	
その他	407,159		486,734		363,570	
流動負債合計	4,662,206	41.1	4,201,670	37.1	4,683,538	40.9
固定負債						
長期借入金	72,240		42,720		64,860	
退職給付引当金	570,957		519,461		560,400	
役員退任慰労引当金	121,494		139,358		127,136	
その他	6,008		4,573		5,382	
固定負債合計	770,701	6.8	706,113	6.2	757,780	6.6
負債合計	5,432,908	47.9	4,907,783	43.3	5,441,319	47.5
(少数株主持分)						
少数株主持分	73,538	0.7	75,310	0.7	70,488	0.6
(資本の部)						
資本金	644,400	5.7	644,400	5.7	644,400	5.6
資本剰余金	714,572	6.3	714,577	6.3	714,575	6.2
利益剰余金	4,403,653	38.8	4,915,432	43.4	4,527,374	39.5
その他有価証券評価差額金	80,191	0.7	78,585	0.7	74,947	0.7
自己株式	7,185	0.1	8,024	0.1	7,209	0.1
資本合計	5,835,632	51.4	6,344,971	56.0	5,954,087	51.9
負債、少数株主持分及び資本合計	11,342,079	100.0	11,328,064	100.0	11,465,896	100.0

(2) 四半期連結(要約)損益計算書

(単位:千円)

期別 科目	前第3四半期連結会計期間 〔自平成15年11月1日 至平成16年7月31日〕		当第3四半期連結会計期間 〔自平成16年11月1日 至平成17年7月31日〕		前連結会計年度 〔自平成15年11月1日 至平成16年10月31日〕	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	14,586,493	100.0	15,102,574	100.0	19,572,233	100.0
売上原価	11,936,643	81.8	12,355,374	81.8	16,086,804	82.2
売上総利益	2,649,850	18.2	2,747,199	18.2	3,485,429	17.8
販売費及び一般管理費	1,953,186	13.4	1,934,642	12.8	2,587,786	13.2
営業利益	696,663	4.8	812,557	5.4	897,643	4.6
営業外収益	23,315	0.2	28,586	0.2	31,774	0.2
営業外費用	40,864	0.3	22,878	0.2	50,022	0.3
経常利益	679,114	4.7	818,265	5.4	879,394	4.5
特別利益	1,217	0.0	-	0.0	-	0.0
特別損失	50,225	0.4	3,895	0.0	57,761	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	630,106	4.3	814,370	5.4	821,632	4.2
法人税、住民税及び事業税	132,034	0.9	252,609	1.7	256,574	1.3
法人税等調整額	123,977	0.8	64,529	0.5	70,292	0.3
少数株主利益	14,269	0.1	6,421	0.0	11,219	0.1
四半期(当期)純利益	359,824	2.5	490,809	3.2	483,545	2.5